

# 課題挑戦型 インターンシップ

東北公益文科大学 チームE2

寒河江恒貴 石山裕也

太田千翔 池田志穂

# 課題

- 庄内地域では、若者の地元定着率（高校を卒業して就職する若者のうち、県内企業就職者の割合）が県内の他地域（村山、最上、置賜）より低いことが課題となっており、主な要因の一つとして庄内地域の企業の情報が若者に届いていないという指摘があります。地元企業の情報や魅力について、就職を希望する生徒や親に確実に届くようにするにはどうしたらよいか、学生グループからの提案を求めます。

# 現状

- 庄内地域は若者の地域外への転出が山形県内の4地域で最多。
- 高校卒業後の進路は就職、進学合わせて半数以上が県外へ出て行ってしまっている。

# 現在の取り組み

- 高校生と地元企業との交流会
- SNS(facebook)を活用した地元企業の魅力、情報発信
- 地元企業による職業体験会
- 庄内就職説明会
- 就職情報サイト

高校生への情報発信、  
取り組みは積極的に  
行われている

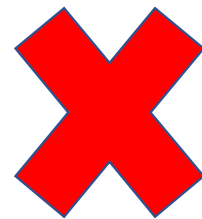
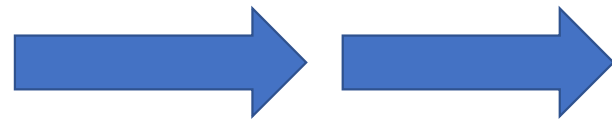


なぜ、  
情報が届いていない  
という声があがるのか



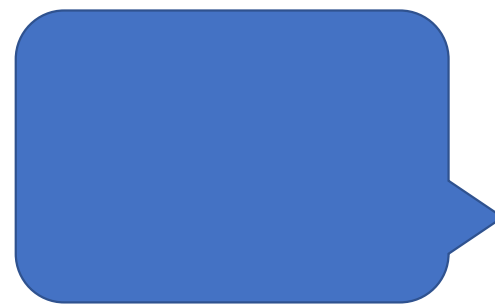
情報の発信側ではなく  
受け取り側に問題が  
あるのではないか

自治体  
企業



高校生

情報の**受け手**が  
若者・学生なら、情報の**発信者**  
も若者にする





E2チームの提案

**若者定着推進委員会**

E2チームの提案

**高校生ver**



# 高校生ver

- ・参加している高校生にSNSの運営をしてもらう。

――― 委員会の活動報告や実際に企業に訪問しその感想を行政っぽくない若者らしい言葉で伝えてもらうことで高校生に伝わりやすくする。(facebookではなくTwitterやインスタなどのほうが閲覧数は増えるかと思う。)

―――

# 高校生verメリット

- 若者のリアルな声を届けることができる。
- 正直、大人の書いた文章よりも同じ年代の書いた文章の方が興味は引きやすい
- そのSNSアカウントのアピールもしやすくなる。

# 高校生verデメリット

- ・ 高校生ならではの文章を届けることができる代わりに企業に失礼になってしまう可能性が高い。
- ・ 遊びたい盛りの高校生が集まるのか。

E2チームの提案

**大学生ver**



# 大学生ver

- 高校生がSNSに投稿したもののや大学生や高校生のインターンの経験をまとめたホームページの運営。

――― 自らが経験したインターンシップや  
企業見学の経験を自分の言葉でブログのよう  
な形で記録を残していくホームページを作成  
する ―――

# 大学生verメリット

- 自分と同世代の人が投稿した文章の方が気軽に見やすく興味を引きやすい。
- 高校生のSNSでのPRも行うことによって情報を届けたい世代への情報提供がスムーズに進む。
- 大学の作ったホームページでは、その見たい情報にたどり着くために手間がかかってしまうため、こちらのほうがよい。



# 大学生verデメリット

- 参加対象者が学生であるため何か報酬が必要となる可能性がある。－完全に善意で動く者もいるが、学生、特に大学生を動かす原動力はお金である場合が多い。－

# なぜ、バイト形式？

- 自発性がある人間のやる気を促進させるには報酬が必要。
- 無償でやると大学生のサークル活動のようにさぼる人が出てくる可能性がある。また、できたものによってボーナスが出るとなればさらによいものができることは想像に難くない。

# 若者定着推進委員会

## 概要

- 高校生、大学生を対象に地域の企業の情報を広く知ってもらうために学生自身が行動し、その活動を SNS やホームページにまとめる。

# 仕事内容

- 企業の見学、体験
- 自分の高校、大学のインターンシップに行った学生にインタビュー
- SNS の運営、ホームページの作成
- 2 か月に 1 回ほどのペースで集まり、活動報告と若者定着のための対策案

# 会議

- これらの仕事には報酬として賃金を支払う。
- お金を払う以上はまじめで積極的な活動を求める。
- 基本日当 〇千円 プラスでホームページの記事作成者や会議での意見者にはボーナスとしていくらかプラスする。

例

The screenshot shows a website header with social media icons (Facebook, Instagram, Twitter, Pinterest) and a hamburger menu icon. Below the header is the title "WORK in SHONAI" and the subtitle "大学生の体験を綴る企業紹介ブログ". A blue navigation bar contains the word "記事" (Articles). Below this is a list item "記事一覧" (Article List) with a dropdown arrow. The article title is "株式会社デーモ" (Company Demo) and the timestamp is "1時間前 · 1分". The article text begins with "2月18日、株式会社デーモ様にお邪魔しました。はじめは製造会社と聞いてあまりその業界にいいイメージを持っていなかったのあまり乗り気ではありませんでした。"

実際に仕事をしている姿を見せていただくと、社員さん方の雰囲気も良く、その仕事に対するイメージも変わりました。

そこで社長さんと入社3年目の社員さんの話を聞いてきました。社長さんの会社に対する思いや、この会社の地域での役割など知らなかったこと貴重なことを教えていただきました。

社員さんは東京の企業から転職してきた方で故郷である山形に3年前に帰ってきたそうです。東京にいる時よりも地域の人たちの顔がよく見えるためよりやりがいを感じながら仕事ができているとおっしゃっていました。

社員さん皆さんが地域に愛着を持って仕事をしている姿、東京よりも楽しく仕事を出来ているというお話でこの地域の企業に対するイメージも変わった気がします。

<https://inta-n.wixsite.com/my-site>